

お 知 ら せ

平成23年3月18日
日本原子力発電株式会社

東北地方太平洋沖地震における東海第二発電所の原子炉自動停止について (3月18日現在の状況)

東北地方太平洋沖地震により、定格熱出力一定運転中の東海第二発電所（沸騰水型軽水炉：定格電気出力110万kW）は、タービン振動大によりタービンが停止し、原子炉が自動停止しました。

電源系統については原子炉自動停止以降、外部の常用および予備電源が停止し、非常用ディーゼル発電機で電源を確保していましたが、3月13日に外部予備電源が復旧し、本日15時06分に、外部予備電源（154kV）から外部常用電源（275kV）への切り替えを実施し通常の電源系統に復帰しました。これにより、外部予備電源、非常用ディーゼル発電機は待機状態になっております。

現在の発電所の状況は以下のとおりです。

1. 原子炉施設等の状況

- ・原子炉は冷温停止状態で、水位、圧力、温度ともに安定しております。

2. 周辺環境への放射能の影響

- ・モニタリングポストなど、環境放射線モニタの指示値は他発電所の影響を受け、通常より若干高めの指示を示しておりますが、排気筒放射線モニタ指示値は通常の範囲内での変動であり、外部への放射能の影響はありません。
今後も引き続き監視してまいります。

3. 火災及び人災の発生の状況

- ・火災および人身災害の発生はありません。

4. 電源系統

- ・外部常用電源（275kV）にて所内電源系統は確保しています。
- ・外部予備電源（154kV）および非常用ディーゼル発電機（2台）は待機中です。

5. 津波による影響

- ・ 津波による影響で停止している非常用ディーゼル発電機用海水ポンプ1台については、本日、実用炉規則第19条の17第3号の報告事項に該当すると判断し国へ報告しました。今後詳細な調査を進めてまいります。
- ・ 引き続き、津波による影響について調査します。

6. 地震による影響

- ・ 今後、各設備の詳細調査を実施します。

7. その他

- ・ 当社は、地震発生後社長を本部長とする「東北地方太平洋沖地震対応本部」を設置し、全社一丸で対応にあたっておりますが、3月16日に同本部体制を強化し、今後の地震対応に幅広く取り組んでいくこととしました。

以 上

問合せ先：日本原子力発電株式会社

広 報 室 荻 野・椎 名

T E L : 0 3 - 6 3 7 1 - 7 3 0 0